

永井 利明 議員 無会派

本市の小中学校の教育環境整備の誇れる点は

問

- (1) 教育環境整備で他市町村と比べ誇れる点、遅れをとっている点は。
- (2) 洋式トイレの整備は。
- (3) 学校備品の購入計画は。
- (4) 小・中学校のエアコンの導入の計画は。

ICT(情報通信技術)の整備やICTを活用した教育の充実

答 教育部長

- (1) ICT(情報通信技術)の整備やICTを活用した教育の充実である。
- (2) 27年度は、「防災教育」を中心とした実践的安全教育総合支援事業として文部科学省より委託を受け、十四山地区の児童・生徒に防災教育を地域住民を巻き込んで行うことができた。
- (3) 遅れをとっている点は特にないと思っっている。

問

- (2) 学校間で格差が生じないように各校平均して改修していく方針で、総合計画に従い30年度までに50%を目標に洋式化を進めている。
- (3) 毎年、各校からの要望により、各教材、部活動で使用する楽器などを購入している。

今後文部科学省資料「教材整備指針」を参考に整備していく。

- (4) 近隣市町村では、1町が順次設置をしていくと聞いている。
- (5) 本市では、暑さ対策として全小中学校の普通教室に扇風機設置が完了している。
- (6) エアコンの設置は、校舎の長寿命化対策工事計画にあわせ、国の補助金の採択状況を見ながら計画的に進めていきたい。

小中学校のいじめの状況とその対策は

問

- (1) いじめ対策として本市でもアンケートを実施しているがその内容と結果は。
- (2) 重大ないじめ対策は。

本市のいじめ防止対策基本方針に従い対応していく

答 教育部長

- (1) 学校生活意欲度や学級満足度を客観的に分析できる心理テストと本市の独自アンケートを実施している。
- (2) その結果は「いじめられたことがある」と答えた児童・生徒の割合が、市全体で13%から14%に微増し、「いじめがあると思いますか」の問いに「あると思う」と答えた児童・生徒が、市全体で8%から11.2%に増加をしている。
- (3) 特に小学校では、10%から13.2%に増加しているので注視していく。
- (4) アンケートを分析し調査結果を各小・中学校にフ

ードバックし、その後の指導に役立てている。

「弥富市いじめ防止基本方針」に基づき各校「いじめ・不登校防止対策委員会」を組織し、いじめ防止に向け関係機関との連携の強化を図り、適切な対応を心掛けていく。

不登校児童生徒の対応はどうしているのか

問

- (1) 小・中学生の不登校の状況は。
- (2) 原因別に調査し個別に対策を講じているか。
- (3) スクールカウンセラーの配置と活動状況は。
- (4) 本市の不登校児童・生徒支援施設「アクティブ」に臨床心理士は配置しているか。
- (5) 「アクティブ」の活動状況は。
- (6) 不登校児童生徒への登校刺激の考えは。

答 教育部長

- (1) 2月末で小学生11人中学生35人合計46人。
- (2) 心理的、情緒的、身体的、家庭環境などがあり、家庭訪問や関係機関とも連携し組織的に対応している。
- (3) 各校1名配置し、活動は、児童・生徒、保護者、教員からの相談、広報活動などを行っている。
- (4) 臨床心理カウンセラーを配置している。
- (5) 2月現在、小学生3人、中学生4人、計7人が通室している。
- (6) 学校復帰をした児童・生徒は、26年度、小学5年生の1人、27年度、小学4年生の1人が学校復帰し、4年生1人と6年生1人が、毎日、アクティブに通室している。
- (7) 「温かく見守る」、「登校刺激を与える」という手法を時期により実施している。基本的に学校はつかず離れずの立ち位置であることが望ましいと思っっている。

登校刺激を与えなければいけない時期もある